

クラス	QA307	担当教員	早川 すみ江
テーマ	心の病への理解と精神分析的枠組みに基づく観察と考え		
著書・論文 研究課題等	<p>【著書】『開業臨床心理士の仕事場』（共著）金剛出版 2012 『パーソナリティ障害の精神分析的アプローチ』（共著）2009</p> <p>【論文】「夢機能についての一考察- 転移関係の無意識的体験として-」 子ども発達学論集 9,2017 「スクールカウンセリングにおける親面接の意義」日本福祉大学心理臨床研究センター紀要 10,2015 他</p> <p>【研究課題】「精神分析的心理療法過程の中で起きる転移・逆転移およびクライアント／セラピスト間の交流のあり方に関する研究」「ロールシャッハ・テストと心理療法過程における精神力動に関する研究」</p>		
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード：心の病、精神分析学、内的世界、対人関係の相互作用			
<p>【目的】</p> <p>このゼミでは、心の病への理解を深め、その回復過程について学ぶとともに、そうした心の病に陥る予防的手段だとして、精神分析的枠組みに基づき日常で起きている対人関係の相互作用をよく観察し、それについて深く考え、人との関係の中で起きるさまざまな現象について検討していく力を培うことを目的としています。</p> <p>【内容】</p> <p>心の病とその回復過程について学習するために、まず様々な心の病を理解し、その回復を助けるひとつの手段としてリワークについて学びます。また 3 年前期の終わりに、それまでの学びの理解を深めるための体験学習として、心療クリニックのリワークに参加しているメンバーさんたちと一緒にレクレーションを行います。</p> <p>そうした学習と並行して、精神分析学の中でも特にクライン派対象関係論について学び、人間の内的世界のあり方や対人関係の相互作用の中で起きている現象を理解するための理論的枠組みを学習します。その後、ワーク・ディスカッションという手法を用いて、日常で起きている対人関係の相互作用を参与観察した素材を用いて、そこで何が起きているのかを討論することを通して、深く考え、そしてそこから情緒的に学ぶことを目指します。</p> <p>こうした体験学習や討論を通して、人間の心や対人関係の相互作用に関して自分が興味をもつテーマを見つけていきます。文献・資料の収集と整理、まとめ方、発表の仕方を学びながら、3 年の後期には各自の卒業研究のテーマを具体化していきます。そして 4 年次には、各自がそれぞれの研究テーマに沿って研究を進め、お互いの研究を発表し、討論しながら、よりよいものに仕上げたいと思っています。</p> <p>対人援助職に携わる場合、どんな現場でも必然的に人間の相互作用が伴います。そこで起きることを表面的にとらえ、処理するのではなく、その現象の奥にある人の心や無意識のコミュニケーションについて思いをはせ、考えること、そして自分自身の心や感情に向き合うことのできる人になってほしいと思っています。そうした力が、ストレスに負けない柔軟な心を養うことにつながるものと思います。</p> <p>受身的にすぐに答えを求めるのではなく、わからないことについて主体的に深く考え、考え続けることを厭わない姿勢を期待します。</p>			
<b>担当教員からのメッセージ</b>			
<p>精神分析や人間の心、無意識に関心があり、そうしたことについて深く考えてみたいと思っている人を待っています。各個人の卒業研究テーマは、必ずしも精神分析と関係していなくても構いません。自分自身が見つけた問題意識を追及していくお手伝いをします。また討論は苦手という人も大丈夫です。1 年もすれば結構自分の考えを気楽に話せるようになります。</p>			